

ビクターセンター行事「いろいろな工作教室」

1 日時：令和3年5月23日（日）午後9時30分～11時30分

2 参加人数：14人

3 講師：大橋美枝子 氏 補助：丸山千香子 氏

4 講座の内容

(1) 開会の挨拶（内野）

コロナウイルス感染拡大の影響で、この「工作教室」はこれまで2回開催が延期となり、今回やっと開催できました。

今日は、自然のものをつかって工作をします。やけどやけがに注意しながら工作を楽しんでください。子供たちは自分の創意を生かしながらも講師の先生やおうちの方の協力をもらいながら、おうちの方は子供の手本となるよう、また、童心に帰って、工作を楽しんで、みんないい作品を作ってください、

(2) 工作（大橋・丸山）

① キツネとフクロウ置物

材料

○キツネ 頭・胴体：タカサゴユリの果実（乾燥し種子を取り出したもの）

目：フウセンカズラの種子 尾：エノコログサ

○フクロウ 胴体：マツボックリ

目：ヤマノイモの果実内の仕切りの部分 目玉：フウセンカズラの種子

○台 スギの板の表面を焦がし黒くしたもの

手順

- i 胴体用のタカサゴユリの果実にグルーガンを使って頭となるタカサゴユリの果実をつける
- ii 頭にセメダインで目用のフウセンカズラの種子をつける
- iii 胴体にセメダインで尾用のエノコログサをつける
- iv マツボックリに目と目玉をつける
- v iii、ivをグルーガンで台に固定したら完成

② やじろべえ

材料 支柱：竹 おもり：ドングリ（クヌギ、片方5g） 針金

台：ギョボク

手順

- i 針金の両端に穴の開いたおもり用のドングリをセメダインで固定する。
- ii 支柱用の竹を台用のギョボクにグルーガンで固定する
- iii iの中央部分を曲げ、iiに乗せて揺らしたら完成

③ せみしぐれ

材料 竹（輪切り、4cm程度） 割りばし ひも ガムテープ ビニールテープ

手順

- i 輪切りにした竹の片面をガムテープでふさぐ。
- ii ふさいだガムテープの中央に爪楊枝で小さな穴をあけ、ひもを通し玉を作る
- iii ガムテープの裏面からひもの玉を1cm平方のガムテープで固定する
- iv ひもの片方を割りばしの先に縛る。
- v 割りばしを持ちiiiを回転させてせみしぐれからアブラゼミの鳴き声がしたら完成



講師挨拶
けがとやけどに気を付けて、工作を楽しんで
ください



作成の説明
付けるときは、セメダインやグルーガンを使
いましょう。



キツネとフクロウの置物1
タカサゴユリさやをキツネの顔にして目にな
るフウセンカズラの種をつけました。



キツネとフクロウの置物2
首から下もタカサゴユリのさや、猫じゃらしの尾を
つけて、台に乗せたら完成です。



やじろべえ1
グルーガンでやじろべえの支柱を台につけました。



やじろべえ2
針金の両端にドングリの重りをつけて、針金を少
し曲げて、支柱に乗せたらやじろべえの完成です



せみしぐれ1
できたせみしぐれ、セミの音がするかな。？
楽しい～！



せみしぐれ2
セミの鳴き声のようにするには回し方に
コツがあるね。